

水戸市議会報

令和3年

6月定例会

No.236

2021年8月1日号

水戸城二の丸角櫓

副議長新たに決まる 常任委員会等の改選行う

- 可決した議案 3
- 代表質問, 一般質問 3~10
- 特別委員会, 常任委員会報告... 10, 11
- 常任委員会等委員一覧 11



今年2月に水戸城二の丸角櫓が完成し、歴史的建造物や周辺景観の整備が完了した弘道館・水戸城跡周辺エリア。水戸駅から当エリアを巡る散策ルート「水戸学の道」(右QRコード参照)では、水戸ならではの歴史に触れることができます。



副議長就任のあいさつ



副議長
大津 亮一

このたび、水戸市議会の第72代副議長に就任いたしました。微力ながら議長の後任として、円滑な議会運営に努めてまいります。全ての市民の皆様が、良質な行政サービスを受けられるよう力を尽くす決意でございますので、今後ともご指導とご協力をお願い申し上げます。

永年勤続議員 表彰及び感謝状

全国及び茨城県の市議会議長会から、1名の議員が永年勤続議員として表彰されました。また、全国市議会議長会から、理事の職を務めた2名の議員に感謝状が贈られました。

《表彰》

全国・茨城県市議会議長会

議員在職20年以上

安藏 栄

《感謝状》

全国市議会議長会理事

安藏 栄
内藤 丈男

定例会あらまし



会期

6月3日から22日までの20日間

副議長選挙

副議長 大津 亮一(当選)

各委員会の委員の選任等

・議会運営委員、常任委員の選任
・各委員会の正副委員長の決定を報告(11ページ参照)

議員質問

・代表質問6名(3~6ページ参照)
・一般質問15名(6~10ページ参照)

委員会付託議案

(1)各常任委員会における市長提出議案の審査
(2)各常任委員会の委員長による委員会審査の経過並びに結果の報告(11ページ参照)
(3)採決の結果、いずれも原案のとおり可決、承認

人事案件

・市長追加提出の人事案件4件をいずれも同意(3ページ参照)

意見書

・議員提出の意見書1件を可決(12ページ参照)



本会議の様子

協議等の場における構成員の選任の報告

・協議等の場として、全員協議会、代表者会議及び議会報編集委員会の構成員を選任

請願・陳情

(1)総務環境委員会の委員長による請願審査結果の報告
(2)令和3年請願第1号を不採択(12ページ参照)
(3)陳情の閉会中継続審査を承認

閉会中所管事務調査

・各常任委員会等からの閉会中所管事務調査を承認

各党派等の構成メンバー

党派等の構成が変更になりました。
(令和3年6月18日現在)

公明党水戸市議会

顧問 五十嵐 博
代表 黒木 勇
幹事 高倉 宣
副幹事 鈴木 正
森 慶

魁・水戸

顧問 渡辺 政太
会長 木本 明
副会長 後藤 浩
会 塚 孝
副会長 袴田 和

誠和会

顧問 松本 久
副会長 田口 米蔵
会 安津 亮
副会長 大津 一

水政会

幹事 福島 辰三
副会長 内藤 文隆
副会長 栗原 勝夫
幹事 小川 隆夫

日本共産党水戸市議会

団長 中庭 真己
幹事 田中 記代
副幹事 土田 美

フォーラム水戸

代表 飯田 正雄
副代表 佐藤 昭健
幹事 綿引 健

立憲みと

代表 萩原 慎一
幹事 滑川 友理
副幹事 萩原 理

無所属

会長 田口 文
代表 小泉 康二

自由民主党水戸

代表 田口 文
代表 小泉 康二

可決した議案



今定例会で可決した議案から主なものを紹介します。

市長提出議案	計	25件
令和3年度補正予算	1件	
条例の改正	8件	
その他	16件	

市税条例の一部改正

たばこ税の税率の引き上げをはじめ、各税目において国の税制改正を踏まえた規定の整備を行うもの

固定資産評価審査委員会条例の一部改正

審査の手続における押印の廃止等を行うもの

生活保護法に基づく保護施設等基準条例の一部改正

国の基準省令等の改正に伴い、就業環境の整備、業務継続計画の策定等に係る規定の整備を行うもの

公衆浴場の設置場所の配置及び衛生等の措置の基準を定める条例の一部改正

国の基準要領の改正に伴い、浴槽水の水质基準及び男女の混浴制限年齢の見直しを行うもの

児童遊園条例の一部改正

開発行為による児童遊園3園の帰属に伴い、関係規定の整備を行うもの

指定管理者の指定

新たに帰属する児童遊園3園について、指定管理者の指定を行うもの

工事請負契約の変更

都市計画道路3・4・149号赤塚駅西線の道路新設工事について、契約金額の変更を行うもの

令和3年度一般会計補正予算(3号)補正総額

2億2750万円増
低所得の子育て世帯を対象とする生活支援特別給付金について、補正措置を講じるもの

人事

- 水戸市監査委員
- 渡辺 政明(選任)
 - 高倉 富士男(選任)
- 水戸市農業委員会委員
- 加倉井 幸夫(任命)
 - 飛田 信広(任命)

▼代表質問

公明党水戸市議会



水戸駅前を核とした高等教育機関 関連サービスの充実を

Q 人口減少社会を迎えるに当たり、時代に適した都市政策への転換が必要である。水戸駅前には学習塾が数多くあり、学びの場の充実が図られている。世界で活躍する若者を輩出することは市民の希望となる。そこで、県内外からサテライトキャンパスを誘致するなど、高等教育機関の関連サービスを充実させ、若者の学びの場を創出した中心都市政策を充実させていくべきと考える。見解を伺いたい。

A 議員提案について、実施できる状況は整っていると認識しており、茨城大学や常磐大学等の教育機関との意見交換の場を設けたいと考えている。また、東京圏にある大学のサテライトキャンパス誘致等も視野に入れ、その実現のための条件や課題などの研究を進める。

円滑かつ迅速な ワクチン接種体制の整備を

Q (1)現在、市は新型コロナウイルスワクチン接種を進めているが、高齢者の予約時には混乱が生じた。この原因と対応状況について伺いたい。(2)基礎疾患を有する人を含め、一般

接種対象者への接種時期の見通しについて伺いたい。(3)障害者や在宅の医療的ケア児への接種には、きめ細かな配慮が必要と考える。具体的な対策について伺いたい。

A (1)電話がつながりにくかったほか、想定より早く枠が埋まり、受付を中断したことで市民に不便をおかした。電話回線の増設や高齢者全員の枠数確保など対策を講じ、受付を再開した。(2)基礎疾患がある人には、6月10日から接種券発行のための申請受付を開始した。11月中には、ほぼ全ての市民の2回目接種を完了させるめどが立った。(3)コミュニケーション支援ボード等の接種会場への配置や専用接種日の設定等を行い、関係団体と連携し合理的配慮の提供に努める。



ワクチン接種

その他の質問

- バス路線の再編と1000円タクシーの拡充を
- 高齢者の食料品購入支援のため対応施策の策定を
- 障害者支援施設周辺歩道のバリアフリー化推進を
- みとちゃん・ミモザ・プロジェクトの事業継続を
- いじめ問題対策強化のため市に専門部署の設置を

魁、水戸

後藤通子

コミュニティスクールと

特別支援教育の現状と今後は

Q (1)市でコミュニティスクール※1を導入してから3年が経過したところであり、取組事例や課題、今後の展望について伺いたい。また、子どもへの意見も取り入れていくことでよりよい学校づくりにつながるかと考えており、見解を伺いたい。
 (2)特別な配慮を必要とする児童生徒の増加に伴い、特別支援学級の教員のほかに、他の教員も対応に当たっていると聞いた。全ての子どもが普通の教育を受けられるようにすべきと考える。特別支援教育の現状を伺いたい。

A (1)研究指定校で地域独自の研究をしており、これらの取組を広く発信し取組を推進したい。今後は、児童生徒の意見等を協議のテーマとして取り上げていく。(2)障害等の特性に応じて特別の指導を受けることができる特別支援学級や通級指導教室を設置し、個別のニーズに応じた支援を行っている。

女性の自立支援と

地域コミュニティ推進への見解は

Q (1)女性が自分の能力を生かし発揮していくことが女性の自立支援や

更なる活躍を推進することになると考える。行政として女性が働き続ける職場環境を整えていくことが大切であり、市の取組状況を伺いたい。(2)新型コロナウイルスの影響によって対人間で触れ合うことのできるコミュニティ活動が自粛となった。地域コミュニティの不要論や自治会加入率の更なる低下を危惧するが、市の取組を伺いたい。

A (1)女性の就労に関する積極的な情報発信を行うとともに、労働や法律等に関する相談体制を充実するなど女性の自立を後押しする。市民や事業所等との連携を一層強化する。(2)水住協と協働し、加入者が優待サービスを受けられる「みと町内会・自治会カード」の来年1月の導入に向け取り組んでいる。



地域コミュニティ(イメージ)

その他の質問

- ワクチン接種のスケジュールと先行接種の実績は
- 水戸地域医療構想の協議の進捗状況と今後は
- 水戸協同病院建て替えに向けた協議の状況は
- 南部地区への図書館整備についての見解は
- 笠原水源の排水口を指定史跡にふさわしい景観に

誠和会

田口米蔵

ESDの理念に基づく

SDGsの理念に基づくまちづくりの取組を

Q 国連におけるSDGs※2の採択を受け、国は目標達成に向けた取組を積極的に展開している。地方自治体においてもSDGsの視点に基づき、それぞれの都市の独自性を生かしたまちづくりを展開することが重要と考える。そこで、SDGsに対する認識や市の考え方、具体的な取組について伺いたい。

A 企業・団体、住民等がそれぞれの役割分担の下、連携して取り組むことが必要不可欠であり、自治体でも積極的な取組が重要と認識している。みと魁プランやまち・ひと・しごと創生総合戦略、各分野の個別計画等において、SDGsの理念に沿った施策を積極的に取り入れている。環境・社会・経済分野等で具体的に取組を進めており、引き続き、課題解決に向けた取組を推進し、将来にわたって持続可能なまちの実現を目指す。

小吹清掃工場の跡地活用に

向けた地元との協議状況は

Q 新清掃工場供用開始に伴う小吹清掃工場の跡地活用に向けた取組が極めて重要と考える。(1)これま

での地元への還元策、(2)地元協議会からの要望、(3)市長の考えを伺いたい。また、跡地活用は議会特別委員会で審議すべきと考える。

A (1)ハード事業では植物公園等の還元施設や道路等の地元環境整備、ソフト事業では各施設利用料の免除や地元協議会の運営補助等を実施してきた。(2)地元協議会と相互理解の下、跡地の活用方針等を設定したが、焼却施設跡地の活用について協議会から異議が示され、敷地内埋設ごみの全面撤去を前提とした複合施設整備等の追加要望があったため、協議が進んでいない。(3)合意した方針等を基本に協議会と合意形成に向けた協議を進めながら、議会の意見等を踏まえて対応する。



閉鎖した小吹清掃工場

その他の質問

- 市長の政治信条と今後に向けた考えは
- 新型コロナウイルス感染症について
- ・感染者数や保健所対応等の最新状況は
- ・ワクチン接種の状況や課題は
- ・高齢者接種完了後のスケジュールは

※1 コミュニティスクール…学校と保護者、地域住民が、学校や地域の課題を共有し、共通の目標・ビジョンの下で一体となって児童生徒の育成を図るとともに、特色ある学校づくりを目指す制度のこと。

水政会

栗原文隆

酒門地区における

道路整備の状況は

Q (1)都市計画道路3・3・2号線は第一最終処分場付近まで延伸すると聞いた。酒門工区における百樹園東側の未整備区間は、交通量が多く幅員が狭いため危険であり、早期整備が必要である。整備方針等を伺いたい。(2)国道6号と国道50号との酒門町交差点は日常的に渋滞が発生し、渋滞を避けて車両が周辺の生活道路に入り込むため危険である。交差点の立体化を国に再三要望した結果、2月に新規事業化に向けた動きが報道された。今後の見通しを伺いたい。

A (1)県で事業を進めており、処分場付近の市道上大野9号線まで延伸し、期間は令和6年度までに変更した。未整備区間の早期完成に向け、用地取得や調査等を進めている。(2)3月末に国から令和3年度新規事業箇所として発表された。今年度は調査設計を予定している。

新斎場や酒門358号線等の 新清掃工場周辺の整備状況は

Q 新清掃工場が供用開始し、1年以上が経過した。地元の理解と協力によるものであり、地元の要望を

踏まえ、着実に周辺整備も進めることが重要と考える。そこで、(1)新斎場、(2)自由広場と緩衝緑地帯、(3)市道酒門358号線、(4)施設周辺の県道の整備状況等を伺いたい。

A (1)将来の火葬需要に対応する火葬炉や告別・収骨室、多様化する葬儀に対応する大式場や小式場等を整備する。令和4年度に建設工事に着手し、6年度内の完成を目指す。(2)3か年実施計画に位置付けた。計画に基づき事業を推進する。(3)昨年度までに6割超の用地を取得し、現在は道路排水の流末工事を行っている。今年度は県道に接続する道路改良工事を実施し、早期完成を目指す。(4)今年度は用地取得や区間工事を実施予定で、市としても県へ働きかける。



新清掃工場「えこみっと」

その他の質問

- 新型コロナウイルスワクチン接種について
- 接種及び予約に関する課題と対応状況は
- 予約・接種の現状は
- 市民全員接種に向けたスケジュールは

日本共産党水戸市議団

庭野次男

オリンピック中止を申し入れ ワクチン接種体制の見直しを

Q (1)今最優先すべきはワクチン接種であり、オリンピックの事前キャンプ受け入れや聖火リレーを中止し、国に大会中止の申し入れをすべきではないか。(2)高齢者のワクチン接種が始まったが、電話がつかないなどの苦情を聞いた。コールセンターの電話回線大幅増設や無料フリーダイヤルへの変更を求めるがどうか。(3)接種会場へタクシーで行く場合の支援について、対象を限定せず実費分を全員に支給すべきではないか。(4)全市民の接種完了時期の見直しは。

A (1)万全な感染症対策を講じつつ、国等の動向を注視する。(2)臨時的に20回線増設した。今後もナビダイヤルを使用する。(3)対象要件を災害時避難行動要支援者と同様にしており、一律700円を支援する。(4)11月中にほぼ全市民の2回目接種を完了させるめどが立った。

新市民会館の建設は中止し 計画の見直しを

Q (1)新市民会館建設に対する住民訴訟において、原告団は市に271億円の支出差し止めを求めている。

極めて短期間で用地を決定した結果、補償費総額は86億円にまで増大した。他市の事例と比較すると、選定過程の違いは歴然である。市の裁量権の逸脱・濫用ではないか。

A (1)交流人口を増加させる施設の特性を踏まえ、様々な検討を重ね、泉町1丁目北地区への整備が最善と判断した。(2)大ホールの稼働率を70%と設定し稼働日数を235日と算定した。週1回程度は全席利用、それ以外は半数程度と想定し、入場者を見込んだ。



新市民会館建設地(泉町1丁目)

その他の質問

- 高齢者施設等での頻回なPCR検査実施を
- 無症状感染者発見のためモニタリング検査実施を
- 事業継続特別対策支援金の支給対象の拡充を
- 東海第一原発の再稼働には直ちに反対の表明を
- 新市民会館の指定管理料は見込みが甘いのでは

フォーラム水戸



IoT等の活用と

ICT教育の取組は

Q あらゆる「モノ」がインターネット

とつながる仕組みや技術であるIoT^{*3}が、私たちの社会に広がっている。IoTの活用推進と市民に向けてのICT教育が必要と考えており、市のIoTを活用したスマート農業とICT教育の今後の執行体制や取組を伺いたい。

A スマート農業に関する情報収集を行うとともに、GPS付き田植機や自動操舵機能を持つGPS付きトラクターの導入を支援している。今年度は、自動で施設内の温度制御を行う栽培システムや農薬散布を行う農業用ドローンの導入への支援を予定している。IoT技術を導入し、若者が就農しやすい環境をつくり、農業への定着率を高めていく。ICT教育では、今後、デジタル化に向けた専門の部署を配置するなど、組織体制を強化し、デジタル弱者を取り残すことのないよう対策を進めていく。

ポストコロナの経済回復支援は

Q 市では感染拡大市町村の指定の延長など、度重なる営業時間の短縮

A 引き続き事業継続支援金の給付や、7月からの第3弾プレミアム商品券の発行による飲食店やサービス業等の更なる消費喚起を図り、地域経済の回復に向けた取組を推進する。(再答弁)執行状況等を踏まえ、対象月の拡大等を前向きに検討するよう所管部署へ指示し、事業継続への支援拡大に取り組み。

要請により、厳しい経済状況が今後もお続いている。事業者や雇用者を守り、地域経済を下支えするための更なる経済回復支援が必要と考えるが、今後の支援策を伺いたい。(再質問)事業継続特別対策支援金について、事業者への周知徹底や売上減少の対象月や割合等の要件緩和など、支援拡充について、見解を伺いたい。



みとちゃんのプレミアム商品券チラシ

その他の質問

- 新型コロナウイルス対策について
- ・ワクチン接種の今後の展開は
- 水道のスマートメーターの活用は
- GIGAスクール構想の学びの充実は

▼一般質問

市道渡里102号線の安全対策と今後の整備見通しは



Q 市道渡里102号線は堀町方面と

双葉台方面を結ぶ連絡道路であり、日常的に交通量が多い。水門橋から西側の双葉台方面については長年整備が進まず、車両が通行する十分な幅員がなく、歩道も未整備である。さらには川沿いにガードレールが設置されていない箇所も残っており、近隣住民から安全対策を求める声が多く寄せられている。この危険な状態を一日も早く解消し安全確保に努めるべきである。当該道路の安全対策と整備の見通しについて見解を伺いたい。

A 新中丸橋から西側の区間は家屋が密集しており早期の道路拡幅が難しい。このため、今年度道路法線の見直しを含めた概略設計を実施し、既存道路を活用した法線検討を行い整備促進を図る。歩行者への安全対策にも十分配慮していく。



市道渡里102号線

その他の質問

- 交通政策について
- ・レンタサイクル事業の現状と課題は
- ・シェアサイクル実証実験の検証と導入への見解は

東海第二原発の「試験運転」は6市村の事前了解の対象か?



Q 東海第二原発を再稼働させるには、

日本原電と本市を含む6市村とが結んだ新安全協定により、事前了解が必要となった。原電は、再稼働に必要な安全対策工事を来年12月までに終了する予定で、早ければ来年初には試験運転のための燃料装荷が行われる可能性がある。この試験運転の段階で、6市村の事前承認が必要と考えてよいのか。使用前検査では、終盤に原子炉を稼働させる検査が位置付けられている。6市村で構成する原子力所在地域首長懇談会では、原電に対し文書で、使用前検査が発電所の再稼働に直結するものではないことを確約させた。あわせて、首長懇談会の論議なしに稼働を伴う検査を行わないことも確認しており、決してなし崩しの再稼働を行わないよう、厳しく対応していく。

A 東海第二原発の再稼働については、原子力規制委員会から原子力規制庁へ移行する中で、原子力規制庁の設置が完了し、原子力規制委員会が原子力規制庁に引き継がれることとなる。原子力規制庁の設置が完了し、原子力規制委員会が原子力規制庁に引き継がれることとなる。原子力規制庁の設置が完了し、原子力規制委員会が原子力規制庁に引き継がれることとなる。



首長懇談会が原電に提出した申し入れ書

その他の質問

- ワクチン接種の予約が困難な人への対応は
- 借楽園の改修工事に対する本市の見解は
- オリンピック開催の是非を意思表明すべきでは

*3 IoT(Internet of Things)…住宅・建物、車、家電製品、電子機器等様々なモノがインターネットを通じて接続され、相互に情報交換をする仕組みのこと。より高い価値やサービスの創出が可能になる。



「みとちゃん・ミモザ・プロジェクト」ロゴ

その他の質問

- 「生理の貧困」今後の生理用品の確保方法は
- 市斎場におけるペット火葬の検討を
- 同性カップルへの結婚新生活支援補助は

「生理の貧困」に対し
学校トイレへの生理用品常設を



Q 社会問題となっている「生理の貧困」は、月経時に使用する生理用品の購入や利用ができない状況を指す。背景には経済的困窮をはじめ羞恥心や家族の無理解、ネグレクトを含む虐待等がある。市は女性の貧困問題支援「みとちゃん・ミモザ・プロジェクト」で市民から生理用品の寄付を募り、市役所内3か所、男女平等参画課、社会福祉協議会等での配布を開始した。今後、多感な時期にある児童生徒のため、学校トイレへの生理用品常設が必要と考える。学校での試験的な実施について見解を伺いたい。

A 各学校の保健室へ約7万枚の生理用品を追加配備した。また、寄付の一部も学校に送付した。今後、追加配備した生理用品の活用状況を検証し、一部の学校への試験的導入を検討する。

市民の安心・安全を守る
道路改善策と防犯対策を



Q (1) 沢渡川に沿って堀町と双葉台を結ぶ市道渡里102号線は、一部を除いて狭く、夜は暗いうえ走行車両が多く非常に危険である。片側に設置したガードレールも草が繁茂して見えないため、早急に改善が必要である。対応を伺いたい。(2) 茨大への爆破予告や水戸駅周辺での無差別殺人予告があった。市対応や防犯対策への見解を伺いたい。また、茨大周辺への交番設置を県へ強く働きかけてもらいたい。

A (1) 除草作業等により視認性向上を図る。道路パトロールを強化し、道路環境の適切な維持管理に努める。(2) 警察等との情報共有、学校等への情報提供、市HPへの掲載、巡回や駅周辺での注意喚起等を実施した。今後も緊急時の連絡系統の確認、防犯体制の検証や各種団体との連携体制強化を図る。



ガードレールが見えない市道渡里102号線

その他の質問

- 東海第二原発再稼働を認めない権限の行使を
- 新市民会館の工事中止と計画見直しを
- 那珂川緊急治水対策プロジェクトの進捗は

バス路線新設までの経緯と
信号機設置への見解は



Q (1) 笠原・東野・米沢東方面のバス路線新設について、地元住民の多くは直前まで聞いていなかった。今までの経緯と市が相談を受けた時期を伺いたい。(2) バス路線の新設で、県庁職員等が通勤に使用する道路の更なる混雑が懸念される。幹線市道16号線(東野)と市道吉田3号線(米沢)が交わる交差点、幹線市道16号線と幹線市道14号線が交わる交差点(セブンイレブン付近)に、信号機を設置するよう水戸警察署に要望すべきではないか。

A (1) 2月に事業者から相談があり、5月に認可されたが、運行開始は検討中と聞いていた。6月に運行開始との話があり、急遽地元住民に周知した。(2) 極めて重要と考える。路線バスの運行状況に合わせ現地を調査し、実態を把握したうえで水戸警察署に要望する。



信号機のない交差点(東野町)

網膜色素変性症患者に対する
支援眼鏡の購入助成を



Q 網膜色素変性症は暗い場所で見えにくくなる夜盲や視野が狭くなる視野狭窄が進み、視力低下や失明に至ることもある指定難病の一つである。暗所視支援眼鏡は高感度カメラで捉えた映像を目の前のディスプレイに写し患者の日常生活を支援する機能を有するが、販売価格が約40万円と経済的負担が大きい。全国では46自治体が日常生活用具の給付の対象品目に認定し支援している。国では障害者総合支援法において一定の難病患者も支援対象にしていることから、本市も暗所視支援眼鏡を認定すべきと考えており、見解を伺いたい。

A 患者の日常生活の質を高めるために有効だと認識しているが、安全に使用するために訓練を要するなどの課題がある。先進事例を参考にしながら調査研究していく。



暗所視支援眼鏡

その他の質問

- 危険なバス停の解消に向けた見解は
- ケアラー支援の体制づくりの今後の取組は

児童生徒に対する マスク着用の対応は

もり森慶
まさし

Q 病気等でマスク着用が困難な児童生徒がいる。(1)今後、熱中症対策を図るうえでも国の指針を踏まえ、早急に学校生活でのマスク着用の方針を徹底すべきである。見解を伺いたい。(2)マスク着用が困難な人に意思表示ツールを配付する「わけがありますくプロジェクト」が昨年からはじまり、自治体での活用が増えている。本市でも推進すべきと考える。見解を伺いたい。

A (1)国のマニュアルを遵守し、気温や湿度等が高い日にはマスクを外すことを積極的に指導するように、改めて学校に通知し周知徹底した。また、マスクが着用できない場合があることや思いやりの気持ちで行動することや各学校で指導している。(2)有効な取組とと考えており、学校と連携して児童生徒や保護者の意向に沿った活用を図る。

広域避難計画策定における 完成の考え方は

いらい田美
まさみ

Q 水戸地裁は日本原電に対し、東海第二原発の原子炉を運転しないよう命じる判決を言い渡した。この判決では、実現可能な避難計画や実行体制が整えられていないことから、人格権侵害の具体的危険があるとされた。避難計画は公表の段階から実効性のあるものでなければならず、策定後も訓練による検証等を行い、随時改善して強化すべきものとする。本市の広域避難計画の策定は、どのようなレベルで完成と考えるのか。

A 安全な避難が現実的に可能であり、市民が納得できる計画となつて初めて完成するものと認識している。避難実施要項や組織体制・職員行動マニュアルの策定を進めるとともに、複合災害への対応をはじめとする多くの課題への対応策を積み上げ、計画の実行性を高める。

更なる深刻化が予想される 空き家問題に対する見解は

ねいひら健
けん

Q 地域に悪影響を及ぼす空き家への対応として、自治体は指導、勧告、代執行等が可能である。自治体が空き家対策に果たす役割は今後も増大することが予想され、地域の実情に合った柔軟な条例や規定の整備が必要となる。例えば、住宅購入者への解体費用の積み立ての義務付けや固定資産税の上乗せ等、代執行による自治体の解体費用を賄う仕組みづくりの検討も重要と考えており、見解を伺いたい。

A 空き家の管理は所有者の責任でなされるものである。所有者からの相談の際には、解体に向けた口門に関する相談窓口を紹介している。議員提案は法制度上困難ではあるが、今後も空家等が所有者の責任において適正な対応がされるよう、県とも連携を図り有効な対策について調査研究を進めていく。

県の偕楽園月池地区 整備事業への見解は

あんそう安藏宗
むね

Q 昨年、県は偕楽園月池地区への迎賓施設の整備事業計画を発表した。市の千波湖周辺整備計画等との連携が考慮されておらず、交通渋滞等の悪化や周辺地域の魅力低下を招くものであり、事業を見直すべきと考える。(1)県担当が出席した市特別委員会では多くの意見等が出された。県の対応を伺いたい。(2)県が事業者と実施協定を締結し、公募時より0.6ha多い1.6haを無償で貸し付けるとした理由について、見解を伺いたい。(3)事業者による説明会の開催を求める。

A (1)意見を踏まえ、景観への配慮や建物配置の工夫、交通対策を実施すると聞いている。(2)収益施設と一体的に行う公園の清掃・美化の範囲が面積に含まれ、その範囲が広がったためと考える。(3)特別委員会での審議を踏まえ対応する。



「わけがありますくプロジェクト」ポスター

その他の質問

- U・I・Jターンや就職支援の取組強化を
- 奨学金返還支援制度の導入による支援を



首長懇談会を構成する6市村

その他の質問

- 市民農園の設置状況、利用率と今後の推進策は
- 農地集積の現状と所有者不明等農地への対応は
- 赤塚小学校付近の通学路における交通安全対策は



行政代執行により外壁撤去を行ったビル(南町)

その他の質問

- 市内の空き家と市民からの相談件数の推移は
- 市民からの相談内容と市の対応状況は
- 他自治体の先進事例に対する検討状況は



偕楽園公園月池

その他の質問

- 偕楽園公園月池における鯉大量死の原因は
- 千波湖導水事業の進捗状況は
- 千波湖導水事業の総事業費と市負担割合は

下水道使用料は 値上げ中止を

田中 眞己

ノーマライゼーション※4の 実現へ向けた支援拡充を

小泉 康二

那珂川緊急治水対策プロジェクトの 具体的な進捗状況は

五十嵐 博

行政組織の一元化による 子育て支援策の実施を

袴塚 孝雄

Q (1)市の下水道使用料は3年ごとに5回も値上げし関東6県の県庁所在市や東京23区と比べて一番高い。行革プランでは令和4年度にも改定する方針だが、年々減少する一般会計からの繰り入れを元に戻せば値上げは必要ない。コロナ禍で市民生活は大変であり、値上げは中止すべきである。(2)市の下水道は市浄化センターと県的那珂久慈浄化センターで処理している。那珂久慈流域下水道は5年ごとに料金を見直しており来年また改定となる。県に年間5億円も負担金を支払っており、さらに値上げを許せば下水道事業に大きな影響を与え、市民負担に直結する。県に値下げを要望すべきだがどうか。

A (1)コロナ禍の地域経済への影響等を踏まえ、慎重に検討を進める。(2)9市町村1組合で要望する。

Q 障害者や難病患者が、より豊かな生活スタイルを確立するには、活動場所等の確保が必要であり、公の施設が果たす役割は大きい。だが、経済的自立が課題の一つとなる障害者の方々にとって施設利用料は負担であり、活動の障壁になりかねない。市内施設の一部では料金の減免が導入されているが、数は限られている。障害者や難病患者の社会参加と生きがいづくりを支援するため、より多くの施設で減免を行うべきと考える。現在の方針と支援拡充への見解を伺う。

A 障害者がスポーツや文化活動に自ら参加できる機会の拡充と情報提供に努め、障害者の社会参加を促進する。また、活動場所の確保は大変重要と考えており、関係部署間で連携し、減免ルールを策定するなど拡大に向けて検討を進める。

Q 国県市町が連携して取り組む那珂川緊急治水対策プロジェクトでは、様々な水害対策を強化し、社会経済被害の最小化を目指している。市民の命を守るため、災害に強いまちづくりは喫緊の課題と考える。各事業の進捗状況を伺いたい。

A 水位低減を図る対策の柱として、上流域での遊水地整備に向けた取組が始まったほか、河川の流下を阻害する樹木の伐採が若宮地区、根本地区、下国井地区で実施されている。水府・枝川地区では河道掘削が進められ、城東地区や中河内地区では既存堤防の強化が図られている。飯富地区では、遊水機能の確保・向上や土地利用等の検討に向け、地域住民との意見交換会を開催した。吉沼地区でも堤防整備を進めることとなり、6月に住民説明会を開催する。

Q 少子化が進む中、子どもを生み育てやすい環境を整え、支援策を講じることが重要と考える。市は教育委員会と福祉部において子育て支援を行っているが、児童虐待の問題等には部署間での一層の連携が必要である。国は各支援策を一元化する子ども庁の創設を検討しており、市でも国に先駆けて行政組織の一元化を進めるべきと考える。見解を伺いたい。

A 様々な子育て支援策を実施し、児童虐待については関係機関が緊密に連携して対応している。本市が子育て世代から選ばれるためには、子育て負担の軽減となる、更なる魅力ある支援策が重要と認識している。行政組織再編による新たな支援策の一体的な実施は、国の動向を注視し、最善の組織運営を図る観点から総合的に検討する。



市浄化センター(若宮)

その他の質問

- 下水道整備計画は実態にあった見直しを
- 水戸駅北口リヴィン跡地の再開発への補助中止を



車いすバスケット@まちフェス

その他の質問

- 水素社会構築の必要性とカーボンニュートラルへの取組は
- Fリーグ参入を目指すマルバ水戸FCとの連携推進を
- 双葉台中及び国田・飯富中部活動の新たな取組について



那珂川流域

その他の質問

- 原動機付自転車のナンバープレートについて
- ・ナンバープレートの盗難状況と市の対応は
- ・希望ナンバープレートの交付に対する見解は



子育て世代(イメージ)

その他の質問

- 笠原町における住居表示の実施を
- 台風やゲリラ豪雨に備えた対応は
- 中心市街地の地価下落と都市再生への見解は

※4 ノーマライゼーション…障害のある人もない人も互いに支え合い、地域でいきいきと明るく豊かに暮らしている社会を目指す理念のこと。

(仮称)西部いきいき交流センター
河和田町建設事業概要



Q いきいき交流センターは、浴室や多目的ホールなどの諸室を有し、地域の高齢者にとって安らぎ、憩いの場となる施設である。旧河和田保育所跡地で建設事業が進む(仮称)西部いきいき交流センターは、コロナ禍にあつて、地域住民が大いに待ち望んでいる。そこで、建設事業の内容、完成後の運営方針、地域との連携活動方針について説明してほしい。

A 鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積約1780㎡、3年間の継続事業で総事業費7億円超、令和5年度中の供用開始を目指している。健康寿命の延伸等、施設本来の機能のほか、高齢者の生きがいづくりに向けて子育て支援の機能を新たに追加した。地域の様々な意見を取り入れながら、多様な世代に広く親しまれる施設を目指す。



いきいき交流センター柳堤荘(2階建て)

その他の質問

- ワクチン接種の対象市民全員の終了予定は
- 経済活動、学校教育、行政活動の見通しは
- コールセンター業務をJTBが行うのはなぜか

特別委員会中間報告

本会議において、各特別委員長が調査の経過等について、中間報告を行いました。
各特別委員会の中間報告の概略は次のとおりです。

行財政改革調査特別委員会

行財政改革プラン2016前期実施計画の実施状況や後期実施計画の策定、行政組織の見直しなど、行財政改革に関する事項について、調査、検討を進めてきた。

執行部においては、これまでの審議で出された委員意見や要望等を踏まえ、行財政改革プラン2016後期実施計画の適正な進捗管理の下、更なる市民サービスの向上や質の高い行政運営の実現を目指して、全庁を挙げて行財政改革に取り組みことを強く要望する。

新市民会館整備等調査特別委員会

新市民会館の整備に向けて、泉町1丁目北地区市街地再開発事業に係る事業費、新市民会館の運営費及び指定管理者の選定方針、新市民会館の設置及び管理に係る条例の制定等について、慎重に調査、

検討を重ねてきた。
執行部においては、開館に向けて施設建築物工事の着実な推進、指定管理者の公募、にぎわいを創出する事業の企画等に鋭意取り組むことを強く要望する。

新ごみ処理施設整備等調査特別委員会

新ごみ処理施設の建設及び周辺整備について、慎重に調査、検討を重ね、新清掃工場「えこみっと」、第三最終処分場及びアクセス道路等の着実な整備が図られたことを確認した。

執行部においては、引き続き、新ごみ処理施設の効率的な運営に努めるとともに、更なる市民福祉の向上に向け、下入野健康増進センターや新斎場等の生活環境向上施設の整備に鋭意取り組むことを求める。

偕楽園・千波湖周辺整備等調査特別委員会

偕楽園・千波湖及び周辺地域の整備に向け、パークPFIの導入方針や公募設置等指針、また県の

事業計画等について、慎重に調査、検討を重ねてきた。

執行部においては、引き続き、本市初となるパークPFIによる公園整備に取り組むとともに、ポウリング場跡地整備についても十分検討し、これらが千波公園の新たな核として、にぎわい創出の拠点となるよう事業の推進を求める。

水泳競技施設等調査特別委員会

令和元年陳情第5号「新水戸市民プールの建設を求める陳情」の審査をはじめ、水泳競技施設の公認基準、他市の事例、県内の大会開催状況等について、多岐にわたる視点から議論を進めてきた。

執行部においては、これまでの審議で出された委員意見や要望等を踏まえ、市民スポーツの振興や健康づくりの推進に資する本市の水泳競技施設等の在り方について更なる調査、検討を求める。

5委員会とも、引き続き、調査、検討を進めていきます。

議会運営委員会及び各常任委員会 委員一覧

議会運営委員会

委員長 安藏 栄
副委員長 黒木 勇
委員 田中真己
// 綿引 健
// 鈴木宣子
// 渡辺政明
// 袴塚孝雄
// 福島辰三

総務環境委員会

委員長 高倉富士男
副委員長 佐藤昭雄
委員 田中真己
// 大津亮一
// 栗原文隆
// 福島辰三

文教福祉委員会

委員長 木本信太郎
副委員長 森 正慶
委員 萩谷慎一
// 土田記代美
// 黒木 勇
// 袴塚孝雄
// 田口米蔵

産業消防委員会

委員長 飯田正美
副委員長 後藤通子
委員 小泉康二
// 渡辺政明
// 内藤丈男
// 五十嵐 博
// 安藏 栄

建設企業委員会

委員長 綿引 健
副委員長 滑川友理
委員 中庭次男
// 田口文明
// 鈴木宣子
// 小川勝夫
// 松本勝久

文教福祉委員会



公衆浴場の設置場所の配置及び衛生等の措置の 基準を定める条例の一部改正

主な質疑 対象となる施設の数、水質基準及び水質の検査など。

主な意見 (1)市民が安心、安全に施設を利用できるよう、改正内容について事業者及び利用者への丁寧な説明と周知に努められたい。(2)適切な水質検査の実施等を点検するための内規を定めるなど、事業者に対する管理、指導体制の確立に努められたい。

全会一致 賛成

総務環境委員会



市税条例の一部改正

主な質疑 セルフメディケーション税制の制度概要やその周知方法、住宅借入金等特別税額控除の概要、たばこ税の税率改正による本市財政への影響など。

全会一致 賛成

令和2年度及び令和3年度一般会計補正予算 (総務環境委員会所管分)

主な質疑 国庫補助事業の年度調整に伴い予算の補正措置を講じた理由など。

主な意見 予算の執行状況に応じた財源の有効活用
に努められたい。

全会一致 賛成

産業消防委員会



令和2年度及び令和3年度一般会計補正予算 (産業消防委員会所管分)

主な質疑 事業継続特別対策支援金の申請状況及び今後の見通し、市内事業者の経営状況など。

主な意見 (1)申請期限が6月末であることから、引き続き、利用促進に向けた周知を図り、当該制度の目的達成に努められたい。(2)コロナ後を見据え、不用額が生じた場合は、市内事業者の経営状況の把握に努め、経済活動の活性化に資する施策を講じるなど、財源の有効活用を図られたい。

全会一致 賛成

建設企業委員会



都市計画道路3・4・149号赤塚駅西線道路新設 (2工区)工事請負契約の変更

主な質疑 施工方法や工事に伴う地域住民への対応など。

主な意見 (1)地質調査の手法について検討されたい。(2)破碎後の岩盤の再利用について、効率的な利用方法を検討されたい。(3)工事の安全対策を講じたうえで、早期完成に向け事業の推進を図られたい。

全会一致 賛成

主な各種役員等一覧表

委員等の名称	氏名	委員等の名称	氏名	委員等の名称	氏名
水戸地方農業共済事務組合議会議員	須田浩和 内藤文男 五十嵐博 栗原文隆 安藏 米	水戸市社会福祉審議会委員	萩谷慎一 森 正慶 大津亮一 袴塚孝雄 田口米蔵	水戸市青少年問題協議会委員	萩谷慎一 森 正慶
大洗、鉾田、水戸環境組合議会議員	須田浩和 佐藤昭雄 大津亮一 福島辰三	水戸市民生委員推薦会委員	黒木 勇 田口米蔵	水戸市立博物館協議会委員	土田記代美
笠間地方広域事務組合議会議員	田中真己 栗原文隆	水戸市国民健康保険運営協議会委員	土田記代美 袴塚孝雄	水戸市立図書館協議会委員	土田記代美 黒木 勇
茨城地方広域環境事務組合議会議員	大津亮一 栗原文隆 福島辰三	水戸市優良観光土産品審査会委員	渡辺政明	公益財団法人水戸市国際交流協合理事	須田浩和 福島辰三
茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員	須田浩和	水戸市公設地方卸売市場運営協議会委員	小泉康二 渡辺政明 内藤文男 安藏 米	公益財団法人水戸市スポーツ振興協合理事	須田浩和 福島辰三
水戸市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員	田中真己 佐藤昭雄 黒木 勇 小泉康二	水戸市都市計画審議会委員	須田浩和 森 正慶 栗原文隆 松本勝久	一般財団法人水戸市商業・駐車場公社理事	後藤通子 大津亮一
水戸市安全なまちづくり推進委員会委員	佐藤昭雄	水戸市緑化推進会議委員	鈴木宣子 飯田正美	一般社団法人水戸観光コンベンション協合理事	須田浩和 田口文明 飯田正美
水戸市男女平等参画推進委員会委員	田中真己 大津亮一	水戸・勝田都市計画事業東前第二土地区画整理審議会委員	小川勝夫	一般財団法人水戸市農業公社理事	須田浩和 飯田正美 小泉康二
水戸市環境審議会委員	佐藤昭雄 福島辰三	水戸市社会教育委員	萩谷慎一 袴塚孝雄	一般財団法人水戸市公園協合理事	中庭次男 大津亮一 渡辺政明
水戸市廃棄物減量等推進審議会委員	田中真己 栗原文隆	みと好文カレッジ運営審議会委員	田口米蔵		

可決した意見書



今定例会では、議員提出議案として、次の意見書を可決しました。

学校教育におけるデジタル・トランスフォーメーションを適切に進めるための意見書

請願の結果



○不採択

令和3年請願第1号 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出を求める請願

願意に沿いがたく不採択とした。

9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
9/5	6 本会議 (提案理由説明) 議案説明会 決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	7	8	9	10	11
12	13 本会議 (代表質問)	14 本会議 (代表質問) (議案質疑) (一般質問)	15 本会議 (一般質問)	16 常任委員会	17 常任委員会	18
19	20	21 決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	22 決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	23	24 決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	25
26	27 議会運営委員会	28 議会運営委員会 全員協議会 本会議 (議了)	29	30	10/1	2

※ 9月7～12, 18～20, 23, 25～27日は議案調査

編集委員会

委員長 後藤 通子
副委員長 森 正慶
委員

新体制になりました!

滑川 友理 須田 浩和 土田記代美
佐藤 昭雄 高倉富士男 大津 亮一
渡辺 政明 栗原 文隆 小川 勝夫
田口 米蔵

編集後記



水戸市マスコットキャラクター「みとちゃん」

今定例会から議員任期の後半がスタートとなり、副議長選挙や常任委員会等の改選を行いました。また、議会報編集委員会のメンバーも新しくなりました。引き続き、よりよい広報紙づくりに努めてまいります。

今定例会でも新型コロナワクチン接種に係る進捗状況や今後のスケジュールなど活発な議論が交わされました。今後も、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、その声を市政に反映しながら、更なる市民福祉の向上に努めてまいります。 [森 正慶, 高倉 富士男 記]